大阪府木連「柱壁耐震工法」が大反響

「公開工事」に見学者が殺到
NHKは2回も放映

大阪府木材連合会（越井健会長）が京都大学防災研究所と共同開発した「柱壁耐震工法」が一般消費者から大きな反響を呼んでいる。大阪府木連では府下の現建築基準法の耐震基準に満たない老朽木造住宅の耐震補強が住宅関連産業としての責務として、越井会長を筆頭に京大防災研究所と共同開発した独自の耐震工法（特許申請中）の普及に向けて鋭意取り組んでいたが、いよいよ本格的なビジネス化へのキックオフとして6月15日、大阪市市此花区梅香の空家で実際の耐震補強部材取り付け工事を公開した。

中村耐震委員長「命を守る工法開発」

当日は大阪府の小河保之副知事をはじめとした行政関係、設計士や工務店などの建築関係者ら、予想をはるかに上回る見学者が訪れ、報道関係者もNHKをはじめ、サンケイ、読売、毎日、朝日の各新聞社が取材に訪れるなど関心の高さをうかがわせた。

特にNHKは夕方、夜の2回にわたって放映、環境面からの杉間伐材（乾燥材）使用というスポットとともに、同工法の優れた耐震性や1日で補強工事が済み（物件で差異がある）、居住したまま耐震補強ができるという施工の簡易性や安価性なども放映した。

翌日にはこれを見た一般消費者から府木連に50件以上の問い合わせがあり、中には「すぐに来て施工してほしい」などと大きな反響を呼んでいる。これまでにも他局の放映を見た横浜在住の一般消費者から熱心な施工依頼があるなど、同工法への関心・期待の大きさが着実に広がっている。

一般公開では、府木連の耐震対策委員長の中村幟秀副会長が「木材業界として役に立てるもの、震災時に家の崩壊を防ぎ、住む人の命を守るための工法として開発した。手軽に施工ができ、府木連会員全員が府民を守るのだとの意気で、この普及に取り組んでいただきたい」と開発の背景を説明するとともに、業界一丸となっての普及への取り組みを要請した。

当初から開発に携わった京都大学防災研究所の河田惠昭教授（現・関西大学教授）がワーストワンとも言われる大阪府下の耐震性に劣る木造住宅の現状下、上町台地の活断層地震が起これば甚大な被害を出すと、現状での震災規模の大きさを説明、「居間やキッチンなど、日常いることの多い部屋を耐震補強することで、貴重な生命を守ることができる。ぜひとも2～3年計画で関係者と相談しながら補強をしていただきたい」と耐震補強の重要性を強く訴えた。

小河大阪府副知事も「耐震化を普及させるには安価で簡単であることが課題。この工法がより安く、簡単にできるように期待している」と述べた。

引続いて京大防災研究所の川瀬博教授が共同開発した柱壁タイプ耐震工法について解説した。

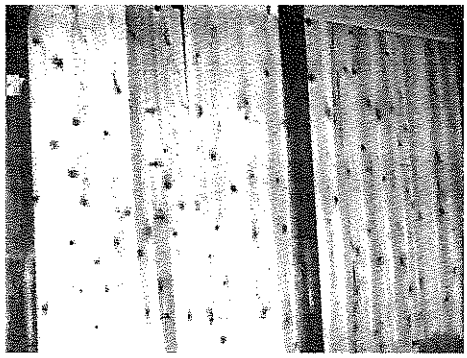
予想以上の見学者が集った耐震工事公開

工事公開にマスコミも殺到

施工実演1回が3回に
作業の簡易性際立たせる

当日の施工実演では当初1回だけの取り付け予定が予想以上の多くの参加者が集まったことから急きょ3回の施工公開となり、1度設置した柱壁を取り外して、再度取り付けるということになった。しかし、このことがかえって取り付けや取り外しの作業の簡易性をより際立たせる結果にもなった。

同工法は京大防災研究所の耐震実験で阪神淡路地震の120%の地震波を5回かけても倒壊しなかった優れた耐震性を実証している。施工は床や天井をはがすことなく、壁を除去した既存の柱と柱の間に杉間伐材（乾燥材、9㎝角など）をボルト締めして柱壁を設置するもの。


杉間伐材で作られた柱壁

問い合わせ先

同耐震工法への問い合わせは大阪府木材連合会まで。電話06－6538－7524番、FAX06－6531－9184番。ホームページアドレス（http://www.mokuzai.or.jp）、Eメール（mokusaka@leaf.ocn.ne.jp）。

組合長に瀬戸保男氏
関木買方組合

関西木材市場買方組合（後藤貞男組合長）は6月11日に第51回総会を開催、後藤組合長の勇退により新組合長に瀬戸保男氏（瀬戸松商店代表取締役社長）が就任した。

瀬戸新組合長は「政治・経済ともに混沌として出口の見えにくい環境の中にある。そのため木材業界も明るい兆しは見えないが、常に前向きに取り組み、組合運営に誠心誠意をもって努力していきたい。前組合長同様に格別の指導と鞭撻をお願いしたい」と述べている。

「森林の牛乳」関東でも販売
アミタ

アミタ（東京都、熊野英介社長）は、7月25日に、人と自然、人と人がつながり循環する持続可能な地域づくりをめざす場所「森林の牧場　那須」を栃木県那須町にオープンし、同日から365日・24時間自然放牧（林間放牧）した健康的な乳牛からしぼった「森林の牛乳」を、関東地方へ初めて販売する。

アミタは、木材価格の低迷・林業従事者の高齢化などが原因で放置されている森林を用いて、牛を365日・24時間自然放牧する「森林酪農」を実践。新しい酪農事業モデルを行うことで森林を適切に管理、その空間を用いたビジネスで森林の価値を高める。

同社は07年末、京都府京丹後市に「日本初」となる森林酪農を行う牧場「森林の牧場　丹後」を開設。森林の中で生活する健康な牛からしぼった「森林の牛乳」や、「森林のアイス」の製造を開始、関西在住の顧客を中心に好評を博している。「森林の牧場」の初の関東展開が決定し、昨年末には栃木県那須町の森林に、搾乳前のジャージー牛の放牧を開始。その後、利用されていない森林は牛が草を食べ、踏み土をならすことで、人が入りやすい森に整えられ、間伐を経て明るい森へと変化。オープン当日は「森林の牛乳」「森林のアイス」「ソフトクリーム」の店舗販売も予定している。

銘木
天井板の老舗
泉源銘木
大阪府摂津市鳥飼銘木町8番10号
電話 茨木 〈072〉(654) 5863番 5864番
FAX 〈072〉(654) 8731番

木材・建材
株式会社 丸五木材
本社 大阪市西区北堀江1丁目8番地12号
TEL 06-6531-3768・FAX 06-6538-3455
木材部 八尾市宮町3丁目4番60号（大木浜）
TEL 0729-98-0080・FAX 0729-99-5385
建材部 TEL 06-6538-3175・FAX 06-6534-1600